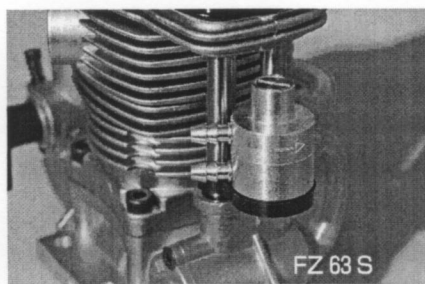


YSエンジンの特徴

YS 4サイクル・エンジンを初めて購入し箱から取り出してよく見てみると、エンジンの前側に“変なもの”が付いているのに気がついたでしょうか。他社のエンジンにはない物がついていると思います。これが、YSエンジンの特徴である「レギュレーター」です。YSエンジンは他社のエンジンとは異なり、クランクタンクに圧力をかけて燃料を圧送する仕組みを持っているエンジンです。

この「レギュレーター」の働きにより、どの回転域でも完全に燃料をコントロールして、混合気を最適に保つために開発された部品なのです。

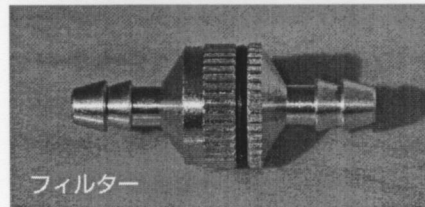
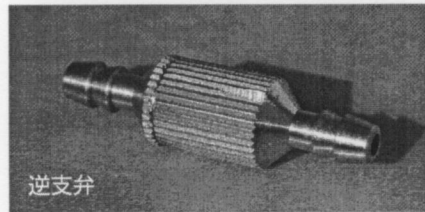
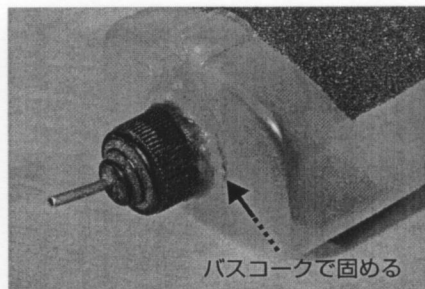
4サイクル・エンジンは2回転で1回爆発するので、YS 4サイクルは2回転分の混合気をクランクケース、ピストンとリヤディスクを利用して圧縮します。その混合気を、送気管とシリンダーヘッドに貯めて加給するスーパーチャージャーを備えていますので、車のスーパーチャージエンジンと同様に、同じ排気量のエンジンに比べると“高馬力”であることはご存知だと思います。たくさん酸素を吸い込み爆発させるので、他のエンジンにない軽量でハイパワーを特徴としています。



機体への搭載

タンクは、口で吹いたより多くの圧がかかります(0.5~0.7K g/cm)ので、まず慎重に組み立ててください。特に、タンクの口元はバスコークなどで接着してください。これをサボって圧力で口元が抜けたら大変です。胴体中は燃料だらけになってしまいます。

配管等は説明書通り行い、純正の逆止弁とフィルターを必ず取り付けてください。



プロペラとスピナーを付けます。スピナーのバックプレートとプロペラをシャフトに取り付け、プロペラワッシャーを入れて大きい方のナットを思いっきり締めます。小さい方のナットはロックナットですから軽く締めてください。



小さいナットはロックナット用

エンコンのリンケージは大丈夫ですか？ スティックハイでちゃんとキャブが全開になっていますか？ サーボがうなってませんか？ スローのときにキャブが0.5~1mm開いているように調整して下さい。



エンジンスタート

さあ、はじめてエンジンを運転します。燃料タンクに燃料を入れて満タンを確認したら、メインニードルを軽く閉めて、止まった位置から2回転ほど戻します。プラグヒートはまだ装着しません。エンコン・スティックを一番上（キャブ全開）にあげて、スターターでエンジンを回します。燃料タンクの配管に異常がなければ“数秒”で音が軽くなり、燃料がエンジン内部に入ったことを意味します。これで、始動前の準備が整いました。それとは逆に、エンジ